

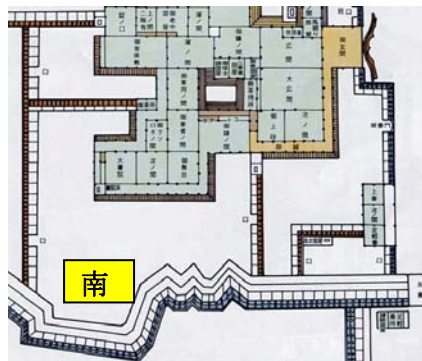
4-2 松本城クイズ14 石燈籠・レリーフ・本丸御殿・花木 (解答・解説)

松本城管理事務所研究室

1. 本丸御殿はどんな役目をもっていたのでしょうか。次の中から正しいものを一つ選びなさい。
.....②

本丸御殿の役目は、**城主の住居**であると同時に、家臣がその主従関係を確認する**対面の儀式が行なわれる場や、藩政のための庁舎**であり、事実上、城内で最も重要な施設であった。

2. 御殿を建てる敷地は南向きが好ましいとされ、対面の儀式を行なう表御殿は南側に配置されました。どういう考えでそうしたのでしょくか。一つ選びなさい。.....①



御殿を建てる敷地は南向きが好ましいとされ、対面の儀式を行う表御殿が南側に配置された。南向きがよいとされたのは、「**君主は南面する**」という**中国思想**に基づくものである。松本城も表御殿は南側に位置する。

3. 本丸御殿は焼失しました。以後再建されず現代にいたっています。さて、いつ頃焼失したのでしょうか。正しいものを一つ選びなさい。享保10年は1725年です。.....③

- ① 享保10年7月.....松本藩主水野忠恒(ただつね)、江戸城内刃傷事件で改易
- ② 享保11年3月.....戸田光慈(みつちか)が鳥羽より6万石で松本に入封
- ③ **享保12年閏正月.....本丸御殿焼失。天守・月見櫓・隅櫓など類焼の危険があった**
- ④ 享保9年9月.....松本藩「信府統記」完成

4. 昭和34年、黒門脇に松本城保存功劳者のレリーフが完成しました。その一人が市川量造です。彼は明治5年(1872)松本城天守が競売に付されたのを憂い、幾多の困難を乗り越えて天守を買い戻しました。天守での博覧会を開催し、その収益金で買い戻したものの一つです。明治6年から明治9年まで博覧会を開催しました。さて、何回開催したのでしょうか。一つ選びなさい。
.....②

博覧会開催した年月を列記してみると、

- 第1回明治6年11月10日～12月24日
 - 第2回明治7年 4月15日～ 6月 3日
 - 第3回明治8年 4月 1日～ 4月31日
 - 第4回明治8年11月 5日～12月 5日
 - 第5回明治9年 5月15日～ 6月15日
- 合計5回を数える。松本博覧会が最初に開催されると、管下各地に次々と開催されるようになった。明治5年11月27日付の市川量造の筑摩県権令永山盛輝に対して行なった博覧会開催についての建言書の影響が大であった。

5. 初代松本中学校長として赴任した小林有也は、明治期荒廃した天守を憂い、明治36年より天守の修理に努めました。寄附を募り、町民一同の協力の末、大正2年(1913)に明治の大修理は終了しました。さて、寄付金はどのくらい集まったのでしょうか。一つ選びなさい。
.....④

31年間にわたって松本中学校長として在職した小林は、明治33年2月本丸が運動場になっ

たこの時から、松本城天守の修理保護を決意した、そして中島東筑摩郡長、小里頼永松本町長らとはかって明治34年「松本城天守閣保存会」を発足させた。明治36年から修理工事にとりかかり、日露戦争の間は一時中断し、大正2年に完成した。**総工費は松本市の寄付金3700円、旧松本藩関係の地方・中央の篤志家の援助を含めて約2万余円**にも及んだ。

6. 写真は、松本城主水野忠直が将軍の墓前に献灯したものです。「**巖有院殿 尊前**」と刻されています。この「**巖有院**」とは将軍誰のことでしょうか。次の中から一つ選びなさい。・・・
.....②

巖有院とは、**四代将軍家綱の法号**である。三代将軍家光の長男で1651年より1680年まで在職した。父家光の死により、11歳で将軍となる。延宝8年(1680)40歳で死去。法号を巖有院といい、墓は上野寛永寺にある。松本城保存功労者と対面して建つ。家綱の死後翌年上野東叡山寛永寺に松本城主水野忠直が献灯したもの。昭和28年寺域整理のため売りに出された石灯笼を当地出身の藤巻譲氏が買い受け、その一基を松本城に寄贈されたものである。

7. 昭和44年(1969)戸田氏の江戸屋敷の庭園にあった石灯笼や雪見灯笼などを松本城に寄贈されました。そして現在は本丸庭園内にあります。さて、寄贈された点数は何点でしょうか。正しいものを一つ選びなさい。・・・・・・④

写真の
ように**4**
基です。
どの場所
にあるか
確認して
みてください。



8. 駒つなぎの桜は、松本城が完成した時、城見舞いに訪れた武将に、石川氏が贈った駒(馬)をつないだことにちなんだとされる枝垂れ桜の木です。城見舞いに訪れた武将は、次の中の誰でしょうか。正しいものを一つ選びなさい。・・・・・・②

駒繫の桜は、庭園の中でも早く咲く枝垂れ桜で、松本城とマッチして絶景の写真ポイントとなる。熊本城主**加藤清正**が、江戸の帰り城見舞いに松本城に立ち寄った。帰りに石川玄蕃頭は、騎馬2頭を差し出し、1頭を差し上げようとした。1頭貰うけるのは失礼なので2頭とも貰うけ帰ったという。その駒を繫いだのがこの桜の木だと伝えられている。今は2代目の木である。

9. 次の写真は、本丸北東隅にある「**松本藩戊辰出兵記念碑**」です。戊辰戦争とはどのような戦争のことをさすのか、正しいものを一つえらびなさい。・・・・・・①

戊辰の年(慶応4年、明治元年、1868年)から翌年にかけて行なわれた**新政府軍と旧幕府側との戦いの総称**。鳥羽伏見の戦い、彰義隊の戦い、長岡藩・会津藩との戦争、箱館戦争などを含む。

10. 松本藩は慶応4年(1868)2月29日、新政府に付くか、幕府側に付くか決断を迫られました。議論の末新政府側につくことに決定しました。以後松本藩兵は官軍の先鋒として各地に出兵しました。さて、次の中で出兵しなかった所はどこか一つ選びなさい。
.....②

松本藩は、この戊辰戦争には、4月旧幕臣・佐幕軍討伐のため、下野(栃木県)**宇都宮・壬生**などに出兵した。続いて松本藩は新潟十日町へ、そして小千谷へそして長岡藩兵と激戦を交え、**北越戦争**が本格化した。そして、奥羽越藩同盟軍との間で戦闘を繰りひろげながら**会津**まで侵攻していった。会津若松城の落城は9月22日のことであった。この間松本藩から出兵した人数261人の名前がこの碑に刻まれている。碑は明治37年に建てられた。